



	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されております。		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名までに2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		段差のないバリアフリーとなっております。生活しやすい環境づくりを目指しております。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	6		換気、空気清浄機を使用しております。清掃の当番を決め、チェック表を活用しております。		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		児童の特性や状況に応じた配慮をおこない、適切な環境を整えております。必要に応じてパーティションを使用しております。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		毎日ミーティングをおこない、月1回のリフレクション会議では課題があれば自由に話し合える場を設け、その内容を業務改善につなげております。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		年に1度保護者アンケートを実施し、内容を共有し意見交換をして改善に努めております。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎日ミーティングを実施しております。前日の振り返りと相談を実施しております。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6		定期的に事業所内研修をおこない、職員の資質向上に努めております。外部研修は提示をし、周知しております。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		公式Webサイトにて公表しております。		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		半年に1度モニタリングの機会を設け保護者様の意向や児童の様子、今後の課題について話し合い、支援計画を作成しております。		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		児童によりよい支援提供ができるように支援会議を実施し、児童発達支援管理責任者が作成しております。		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		児童と関わる職員全員で情報を共有し、最善の支援が提供できるよう話し合いをしております。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		統一されたアセスメントシートを使用しております。日々の行動観察を実施し確認、共有をしております。		
	16 放課後等デイサービス計画は、放課後等デイサービスガイドラインの「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		児童や、保護者様との面談などを通じ、本人支援の5領域の視点を踏まえた支援をおこなっております。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		児童の様子などの情報共有をおこない、活動プログラムを立案するように努めております。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		児童の発達に応じた個別の活動を考慮し、活動プログラムの改善、工夫をしております。毎月運動プログラムの立案、変更をおこなっております。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		保護者様のご意向や児童の状況を考慮し、個別支援と集団支援を組み合わせて計画を作成しております。		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		毎日ミーティングを実施しております。職員間の情報共有ノートを作成し、情報共有を細かくおこなっております。		
	21 支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		送迎の関係で当日の振り返りは難しい場合もあるので、気付いた点や課題は児童発達支援管理責任者に伝え、後日ミーティングで振り返りをしております。		
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		毎日の支援内容や児童の様子について正確に記録を取り全職員が確認できるようにしております。具体的に記録し細かい変化にも気付けるように努めております。		
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		少なくとも6カ月に1回、モニタリングを実施し、支援計画の見直しをしております。		
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	6		自立支援をメインに2つ以上組み合わせ取り組んでおります。		
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	6		児童の自己決定を尊重し、療育の順番や、複数の選択肢から児童自身で選ぶ等工夫を取り組んでおります。		
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		サービス担当者会議には、児童の状況を理解している児童発達支援管理責任者が参加し、関係機関と円滑に連携が取れるように努めております。		
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		訪問看護のサービスを必要としている児童等、学校や病院と連携し適切な支援が得られるように努めております。		
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		送迎時や電話連絡などで情報共有に努め、急な時間の変更などにも対応できるようにしております。日頃から連携を回り迅速に連絡が取れるようにしております。		
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	児童発達支援事業所との間で情報共有をおこない、より良い支援に繋げていけるよう努めております。	幼稚園や保育園などとの情報共有は、今後検討してまいります。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	5	現在対象となる児童はいませんが、その際には適切に対応できるように情報の整理をおこなっております。	今後、必要に応じて情報提供をおこなってまいります。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3	児童発達支援センター内で連携を図っております。	外部の事業所の助言が受けられていないので今後の課題として検討してまいります。	
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	長期休暇中は学童や児童館への送迎をおこなっているため交流の機会があります。	必要に応じて検討してまいります。	
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2	機会があれば参加しております。	開催状況に応じ、積極的な参加を心がけております。	
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6		保護者様が事業所に迎えられた際や送迎時などに児童の状況を伝えております。また日々の連絡帳に利用時の様子を記載し共通理解を持てるように取り組んでおります。		
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5	保護者様から要望がある場合は家庭でもできる療育のヒントとなるよう、療育で使った課題や動画の閲覧をしていただきアドバイスをおこなっております。	支援方法の検討や技能向上のため、研修や実践練習に取り組んでまいります。	
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に児童発達支援管理責任者が対応し、質問事項に答えられるように配慮しております。利用料の請求書など毎月送付書類についても分かりやすい説明を心がけております。法令など変更時には文書で説明をおこない、ご不明な点があれは随時対応しております。		
	37 放課後等デイサービス提供を制作する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		モニタリングや家族支援にて相談対応をおこない児童や保護者様の意見を聞く機会を設けております。		
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		ガイドラインに基づき当該児童に必要な支援を選択し、「放課後等デイサービス計画」を作成しております。児童発達支援管理責任者が詳しく説明し、同意を得ております。		
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、相談や必要な助言と支援を行っているか。	6		送迎時の面談や連絡帳でのやりとりを通じ、いつでも気軽に相談していただけるように日頃から努めております。保護者様から申し出がある場合には、優先的に時間を確保し、相談支援をおこなうようにしております。		
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6	保護者会は開催出来ておりませんが、同系列の事業所で兄弟児の利用がある場合、送迎時などに事業所内外で交流があります。	現時点では実施しておりません。保護者様の要望などを考慮し検討してまいります。	
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		苦情対応について行政機関やその他の苦情受付機関の案内や周知をしております。苦情があった場合は迅速かつ丁寧に対応できるよう努めております。		
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		定期的に「COMPASSだより」を発行し、活動や行事の写真掲載しております。SNSも活用し事業所の活動内容を紹介しております。		
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報の取り扱いについては、鍵付き書庫で管理し、持ち出しにも十分配慮しております。		
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		児童の特性に応じ、口頭や筆談などさまざまな手段で情報を伝えております。今後も特性に配慮し、意思疎通をおこない、保護者様にも丁寧な説明を心がけてまいります。		
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		直接、地域住民を招待する形ではありませんが、交通安全教室などを通して地域の職員の方々と交流活動をおこなっております。	今後も地域社会との交流や連携を図り、企画や運営の検討をおこなってまいります。	
	非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		各種マニュアルは分かりやすい所に掲示し、周知しております。また緊急時の対応は年間計画を立て、訓練や研修を実施しております。	
		47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		年間計画を作成し訓練を実施しております。災害に備えて非常時用備蓄袋を用意し、点検を定期的におこなっております。	
		48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を把握しているか。	6		定期的に服薬の変更がないか保護者様に確認しております。また必要な情報を把握し、職員間で情報共有しております。	
		49 食物アレルギーのあるこどもについての、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	保護者様からの聞き取りをもとに、職員間で情報を共有しております。	現在、医師の指示書が必要な児童は在籍しておりません。必要に応じて対応できるように努めてまいります。
		50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画を作成し、送迎中や事業所内での活動時、食事中、各場面に応じた安全管理を徹底しております。送迎車には安全装置を設置しております。	
51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		6		災害時の避難経路や緊急連絡先の周知をおこない連携を図っております。		
52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方針について検討しているか。		6		事例を記録し危険要因の把握や再発防止に努めております。今後も記録を継続し事故防止に努めてまいります。		
53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		6		研修計画を立て、計画的に研修をおこなっております。研修記録を作成し、職員間で適切に対応できるように努めております。		
54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		6		原則として身体拘束をおこないません。生命または身体を保護するためにやむを得ず必要となる場合には、組織的に判断しううえで、事前に保護者様へ十分に説明し、承諾を得て、放課後等デイサービス計画に記載しております。		